



赤あざ あから顔 の

# Vビーム レーザー治療



# もくじ

---

はじめに .....	2
レーザーってなに? .....	3
単純性血管腫ってどういう病気? .....	4
蔓状血管腫ってどういう病気? .....	5
毛細血管拡張症(“あから顔”)について…	6
Vビームレーザー治療の流れ .....	7
よくある質問 .....	10

## はじめに

この冊子は、  
血管腫治療用レーザー「Vビーム\*」による、  
いわゆる”赤あざ”や”あから顔”のレーザー  
治療を希望される方を対象に作成されてい  
ます。単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管  
拡張症（“あから顔”）のレーザー治療につ  
いてご説明していきます。

\*米国キャンデラ社製ロングパルス色素レーザー



実際に使用する  
レーザー装置  
Vビーム  
(米国キャンデラ社製)

## レーザーってなに？

---

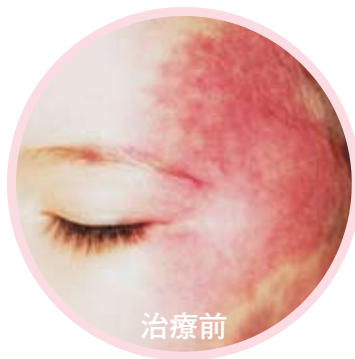
**レ**ーザー光線は非常に強力なエネルギーを持つ光のことで、離れたところから照射してもエネルギーが弱まらないという特徴があります。医療の現場でもレーザー光線は様々な用途に使用されています。ただ、魔法の光ではありませんので、色を消しゴムのように消すことはできません。では、どのようにしてレーザー光線で“赤あざ”や“あから顔”の治療を行なうのでしょうか？

**オ**レンジ色のレーザー光は血の赤い色に大変良く吸収される特長を持っています。強いオレンジ色のレーザー光を肌に当てると肌を通りぬけて血管を流れる血に当たって熱を持ち、その熱を利用して血管をふさいでいきます。1回ですべての血管をふさぐことは出来ませんので、期間を空けて繰り返しレーザーを当てることで、血が流れにくくなり血管はだんだん目立たなくなります。

## 単純性血管腫ってどういう病気？

---

**ポ**ートワイン母斑とも言われる「赤あざ」のひとつで、肌の表面近くにある血管（毛細血管）が拡張してさらに増えている病気です。生まれつきのもので、その後時間が経っても自然に消えないといわれています。大人になると、その部分が濃くなったり、盛り上がったり、デコボコしたりすることがあります。



治療前



治療後

## 莓状血管腫ってどういう病気？

**乳**児血管腫とも呼ばれる「赤あざ」のひとつで、肌の表面近くにある血管がたくさん増えている病気です。生後1カ月ぐらいから出てきて、その後盛り上がってきて、表面がイチゴのようになります。自然に消えることが多く、7歳頃までに75%の人で消えるといわれています。ただ、色だけでなく、盛り上がりや肌のたるみ、質感の違い、キズあとが残る場合があります。なるべく早期（生後1ヶ月からでも可）にレーザー治療を開始することをおすすめしています。



治療前



治療後

## 毛細血管拡張症(“あから顔”)について

---

**様** 々な原因によって、お顔がぼんやりと赤く見えたり、血管がハッキリと透けて見えたりしている状態です。年齢と紫外線の影響で、より目立ってくると言われてています。



治療前



治療後



# Vビームレーザー治療の流れ

## ① 診 断

“赤あざ”や“あから顔”は肌の血管を流れる血が透けて見えている状態です。Vビームレーザーで血管をふさいで、目立たなくしていきます。まずは血流や血管の太さ・深さなど症状をチェックして、レーザー治療に適しているかどうかを診断します。

\*血管腫のレーザー治療は症状を改善させるものであって完全になくなるわけではありません。

## ② 麻 酔

レーザーを当てた時は「輪ゴムではじかれる」ような痛みがあります。必要に応じて治療前に麻酔テープやクリームをお渡ししますので指示に従って使用してください。小さなお子様の場合、おさえや全身麻酔が必要になることがあります。

### ③ 治療前の注意

日焼けをしているとレーザー光が肌のメラニンに吸収され血管まで届かないだけでなく、合併症の原因となります。日焼けをして真っ黒な方は長期間の遮光が必要です。レーザー照射前に、お化粧品や日焼け止めをよく落としていただきます。



## ⑤ 治療後のケア

治療当日はそのままにしておいて下さい。入浴はレーザー照射の翌日から可能ですが、熱いお湯や強くこすことは避けてください。薄い“かさぶた”は1-2週間で取れていきますが、それまでのあいだは軟膏を塗って保湿してください。乾燥していればお化粧をしていただいても構いません。

## ⑥ 治療後の注意

レーザー後は、色が黒っぽくなり、ときに水ぶくれができたりすることがあります。レーザーを当てたところを引っ掻いたり傷つけたりすると、キズあとや黒ずみ（色素沈着）の原因となります。特にお子様の場合、ガーゼや手袋の着用により患部を保護することが必要です。

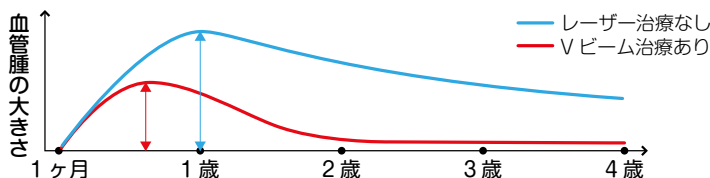
レーザー治療後は、遮光が必要です。遮光をしないで外出したりすると肌が茶色くなる原因となります。外出時には日焼け止めクリームをこまめに使用してください。

# よくある質問

## Q1. 治療はなるべく早く開始する方が良いのですか？

**A.** 単純性血管腫の場合、肌が薄く、あざの範囲も小さい子供の頃から治療を始めた方が効果が良いといわれています。特に、大人になると年齢とともに赤あざの色が紫色っぽくなったり盛り上がったりしてレーザーの反応が弱くなります。莓状血管腫の場合は、急に盛り上がってくる場合も多く、予防的な治療としても早い時期にレーザーで治療することは有用です(図1)。ただ、レーザー治療だけでは盛り上がりを抑えられないこともあり、その場合は他の治療法を併用することがあります。

図1 莓状血管腫のレーザー治療の経過



莓状血管腫には早くからレーザーを当てる方が大きさをおさえられます。

## Q2. 赤みが薄い血管腫なのですが レーザーは効きますか？

**A.** 血管自体は透明なため、血管が細く、血流が少ない、色の薄い血管腫では血が十分な熱を吸収できず、結果的にレーザーの反応も弱くなることが予想されます。その場合、レーザーの強さを上げて対応していくことになりますが、やけどのあとと同じく、逆に赤くなる場合があるので注意が必要です。

## Q3. レーザーを当てたところの 効果がまばらなのですが、 大丈夫でしょうか？

**A.** レーザー光のビームが円形であるため、特に初回治療後はややまばらな状態となりますが、繰り返し治療をしていくことで全体的に均一になっていきますので心配ありません。

#### Q4. レーザー治療に 副作用はありますか？

**A.** あります。レーザーを当ててすぐには、肌が赤くなったり、腫れたり、内出血（紫斑）、ときに水ぶくれが見られることがあります。これらの症状は1～2週間で消えます。その後、炎症後色素沈着といって肌が茶色になることがありますが、数ヶ月でほとんど消えます。

#### Q5. 健康保険は使えますか？

**A.** 単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症の治療には健康保険が使えます。ただし、3ヶ月以上のあいだを空けて治療する場合に限られます。



# メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....